

らが山に入ったのが1984(昭和59)年6月。背丈以上ある草木で覆われたヤブを5m幅で刈り取る作業は想像以上に困難。男性が草刈機を使って道を開き、刈り取った草を女性が整理しながら進む。一通り完了するまで24回の刈峰行に務めた。延べにして315日の巡行。

一度実施した道も放置すると元のヤブに戻ってしまったため、1987(昭和62)年4月から2巡目、1993(平成5)年10月から3巡目の刈峰行を続けた。

#### ■全国から賛同者

これらの活動は、国や県など行政機関の力を借りず、メンバーで資金を集め、自らの手で整備されたものというのが驚きだ。会員は新宮近郊だけでなく、活動に賛同する遠方からの参加者も増えていった。玉岡さんは1巡目が始まった昭和59年から、整備が完了する平成11年(3巡目終了)までの活動記録「千日刈峰行」を残しており、今でも時折振り返り懐かしんでいる。

同会のごうした活動によって昭和63年、那智山青岸渡寺の高木亮英副住職を導師とする熊野修験

による奥駈修行が復活し、現在も毎年行われている。

同会の長年にわたるボランティア活動への評価は高く、これまでに環境

大臣表彰、奈良県知事賞、シチズン・オブ・ザ・イヤール賞(シチズン賞)などを受賞している。昨年11月には玉岡さんが緑綬褒章を受章した。



30年が経過して老朽化したため取り換えた

## 新宮山彦ぐるーぷ活動の歩み

- 1974(昭和49)年 ぐるーぷ発足(代表世話人:玉岡憲明)
- 1979(昭和54)年 前田勇一氏が持経宿小屋建設
- 1984(昭和59)年 第1回刈峰行
- 1986(昭和61)年 第24回刈峰行(1巡目終了:延べ315日)
- 1987(昭和62)年 第25回刈峰行(2巡目)
- 1988(昭和63)年 熊野修験第1回奥駈行サポート
- 1989(平成元)年 行仙宿敷地造成
- 1990(平成2)年 行者堂・行仙宿小屋竣工  
(延べ985日、費用2000万円)
- 1993(平成5)年 第44回刈峰行(2巡目終了、延べ174日)
- 1993(平成5)年 第45回刈峰行(3巡目)
- 1999(平成11)年 第63回刈峰行(3巡目終了、延べ275日)
- 2003(平成15)年 行仙宿管理棟竣工(延べ682日、費用440万円)
- 2004(平成16)年 「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録
- 2005(平成17)年 シチズン・オブ・ザ・イヤール賞  
(シチズン賞)受賞
- 2005(平成17)年 新宮山彦ぐるーぷ30周年記念登山
- 2013(平成25)年 世話人代表交代(玉岡憲明→川島功)と事務局設置
- 2014(平成26)年 玉岡憲明前代表・環境大臣表彰受賞
- 2015(平成27)年 持経宿改築・不動堂屋根葺き替え完工  
(費用400万円)
- 2015(平成27)年 玉岡憲明前代表・緑綬褒章受章